

第2期

# アクティビティ・ケア推進施設 エントリー募集開始！

## アクティビティ・ケア推進施設とは



アクティビティ ディレクター資格認定セミナー開講から13年を迎え、これまでに800名を超える資格認定者が全国の高齢者施設や地域などで、多方面にわたり活動しています。

「アクティビティ・ケア推進施設」認定制度は、アクティビティ ディレクターが活躍し、芸術や遊び、生活文化などの活動を通じて高齢者の心に栄養を与え、ともに、生活を活性化させ、その人らしい生き方を支えるケアを推進している施設を認定することで、アクティビティ・ケアの重要性とアクティビティ ディレクターの必要性を社会に提案することを目的としています。

アクティビティ ディレクターが輝き、アクティビティ・ケアのさらなる充実を目指す施設はぜひご応募ください。

## エントリー概要



【応募資格】 以下の項目全てに該当する場合のみエントリーができます

- 芸術と遊び創造協会会員（2018年度会費を納入済）であるアクティビティ ディレクター資格取得者が2名以上勤務している
- 施設代表者がアクティビティ・ケアを理解し、推進したいと考えており、申請についての同意が得られている
- 認定後、アクティビティ・ケアの推進および、高齢者アクティビティ開発センターに積極的に関わる意思がある
- 高齢者・障がい者に関わる通所・入所施設で、開設から2年以上が経過している

【アクティビティ・ケア推進施設のメリット】

- アクティビティ・ケア推進施設認定証の授与
- 当センターパンフレット、ホームページ、Facebookなどで施設や活動などを紹介
- アクティビティ・ケアに関する有益な情報を優先的に提供
- 新認定施設の代表者の方はアクティビティ・ケア実践フォーラムに無料ご招待

【エントリー方法】 裏面の「エントリーから認定までの流れ」に従ってご応募ください

【エントリー期間】 2018年10月22日（月）～11月20日（火） 必着

※別途、登録料・認定料などはありません

※運営法人ごとではなく、施設ごとの認定となります

※今回、新認定となる施設の認定期間は2019年1月14日～2020年3月31日までです

※認定は年度ごとの1年更新で、年度末に次年度更新のための書類の提出が必要です



認定NPO法人  
芸術と遊び創造協会

高齢者アクティビティ開発センター

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 中野オフィス（木・日曜日、祝日以外の10:00～17:30）  
TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699 URL <http://www.aptycare.com/> E-mail [aptc@aptycare.com](mailto:aptc@aptycare.com)

## 第2期 アクティビティ・ケア推進施設認定 エントリーシート

### 【自己評価項目】

過去1年間での活動を振り返り、該当する項目の数字に丸印をつけてください。

(1)～(4)の領域ごとに、具体的な活動内容を200～300文字で記入し、該当項目の点数を合計してください。

各領域の合計点数が10点以上であり、さらに総計が70点を超えることがエントリーの条件となります。

### (1) 専門スタッフの確保・養成

アクティビティ・ケアを推進するスタッフの養成や、アクティビティ・ケアを他スタッフに周知するために行っている活動

|                                  |                                                                        |                      |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1                                | 芸術と遊び創造協会会員であるアクティビティ ディレクター資格取得者が2名以上勤務し、アクティビティ・ケアの充実を目指している         | 4点                   |
| 2                                | 施設代表者がアクティビティ・ケアを理解し、推進したいと考えている                                       | 4点                   |
| 3                                | 勤務するアクティビティ ディレクターがアクティビティ・ケア実践フォーラム全国大会や、ブロック大会などに年に1回以上参加して継続的に学んでいる | 4点                   |
| 4                                | 施設内にアクティビティ・ケアについて検討する担当者もしくは部署がある                                     | 4点                   |
| 5                                | スタッフがアクティビティ インストラクター、アクティビティ ディレクターを受講する際の支援がある                       | 3点                   |
| 6                                | スタッフが学会や研修会などに参加して自己研鑽する際の支援がある                                        | 3点                   |
| 7                                | アクティビティ・ケアについて、施設内での研修や情報交換を定期的に行っている                                  | 3点                   |
| (1)<br>具体的な<br>活動内容<br>200～300文字 |                                                                        | (1)<br>合計点数<br><br>点 |

### (2) 組織マネジメント

アクティビティ・ケアを多職種で協力しながら、計画的かつ継続的に行い、充実させるための活動

|                                  |                                                                |                      |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------|
| 8                                | 利用者一人ひとりの好きな活動や趣味、得意な活動、生活歴、職業歴、家族関係などをヒアリングして記録し、スタッフ間で共有している | 4点                   |
| 9                                | 多職種でのアクティビティプログラム会議が定期的に行われている                                 | 4点                   |
| 10                               | アクティビティについてスタッフから積極的にアイデアを出せる仕組みがある                            | 4点                   |
| 11                               | アクティビティの効果測定や、参加した際の様子を記録している                                  | 4点                   |
| 12                               | アクティビティカレンダーを毎月作成し、周知している                                      | 3点                   |
| 13                               | アクティビティに関する予算が確保されている                                          | 3点                   |
| 14                               | アクティビティの有償外部講師もしくは有償ボランティアが定期的に訪れる仕組みがある                       | 3点                   |
| (2)<br>具体的な<br>活動内容<br>200～300文字 |                                                                | (2)<br>合計点数<br><br>点 |

### (3) 地域・家族との連携

地域との連携を深めるための活動や、ご家族の理解を深めるための活動

|                                  |                                                 |                  |
|----------------------------------|-------------------------------------------------|------------------|
| 15                               | 近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と世代間交流をしている                | 4 点              |
| 16                               | 介護予防事業や認知症カフェなどの地域に向けた活動をしている                   | 4 点              |
| 17                               | 地域の人が立ち寄れるカフェがあるなど、地域に開かれた施設である                 | 3 点              |
| 18                               | 地域のお祭りへの参画、町会や消防団への参加など、施設を代表して地域に出て活動するスタッフがいる | 3 点              |
| 19                               | アクティビティの様子をご家族などに伝えている                          | 3 点              |
| 20                               | 家族会を定期的に実施するなどし、ご家族の意見を尊重している                   | 3 点              |
| (3)<br>具体的な<br>活動内容<br>200～300文字 |                                                 | (3)<br>合計点数<br>点 |

### (4) アクティビティ・コンテンツの充実

対象者に合わせた活動の提供や、さまざまな分野のアクティビティの充実を図っている

|                                  |                                                |                  |
|----------------------------------|------------------------------------------------|------------------|
| 21                               | 利用者一人ひとりの好みに合った活動を提供できる仕組みがある                  | 3 点              |
| 22                               | 集団活動の際にも、利用者一人ひとりが出来ることに合わせた内容や作業の分担を心がけている    | 3 点              |
| 23                               | 認知症の方への個別のアクティビティ・ケアの提供が行われている                 | 3 点              |
| 24                               | 寝たきりの方への個別のアクティビティ・ケアの提供が行われている                | 3 点              |
| 25                               | 利用者のQOL向上、生きがいづくりに役立つ施設オリジナルのアクティビティ・コンテンツがある  | 3 点              |
| 26                               | 衣…おしゃれや美容など、利用者がいきいき過ごすためのアクティビティ・コンテンツがある     | 3 点              |
| 27                               | 食…選べるメニュー、好きな食器を使うなど、食文化を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある | 3 点              |
| 28                               | 住…内装木質化、入居者の自治会など、住環境を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある    | 3 点              |
| 29                               | 遊…芸術文化・遊び文化など、利用者の心を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある      | 3 点              |
| 30                               | 仕事…意図的な出番作り、社会参加など、役割作りにつながるアクティビティ・コンテンツがある   | 3 点              |
| (4)<br>具体的な<br>活動内容<br>200～300文字 |                                                | (4)<br>合計点数<br>点 |

|                                    |                                |
|------------------------------------|--------------------------------|
| ふりがな<br>【法人名】                      | 自己評価項目(1)～(4)総計 点 (70点以上／100点) |
| ふりがな<br>【施設名】                      | 【電話】 【FAX】                     |
| ふりがな<br>【代表者氏名】 印                  | 【E-mail】                       |
| 【所属アクティビティ ディレクター氏名】 (エントリー担当者に★印) | 【所在地】 〒                        |

# エントリーから認定までの流れ

## ① エントリーシート提出

中面のエントリー用紙に記入して、高齢者アクティビティ開発センターにご郵送ください。  
PCでの入力をご希望の方にはExcelのデータを送付しますので、メールにてご依頼ください。  
エントリーシートの提出締切り日：2018年11月20日（火）必着

## ② 審査結果通知

アクティビティ・ケア委員会にて審査の後、結果を11月30日（金）までにご連絡します

## ③ 認定証授与

新認定施設には、2019年1月13日（日）・14（月・祝）に東京にて行われる  
「第9回アクティビティ・ケア実践フォーラム」の壇上にて、認定証を授与いたします。  
ぜひご出席ください。

## アクティビティ・ケア推進施設（第1期 2018年1月8日認定）



老健たいよう



樫の森

新潟県三条市  
通所リハビリテーション  
樫の森

新潟県上越市  
デイホーム  
なごみの家

長崎県南島原市  
地域密着型特別養護老人ホーム  
アメニティいわど

南島原  
御船

熊本県御船町  
老人総合福祉施設  
グリーンヒルみふね



グリーンヒルみふね

釧路

北海道釧路市  
介護老人保健施設  
老健たいよう

三条  
上越  
水戸

茨城県水戸市  
デイサービスセンター  
お多福



## アクティビティ・ケア推進施設ロゴマーク

ご利用者とスタッフだけの施設ではなく、地域に開かれ、社会と同じように子どもからお年寄りまでの多世代、さらには動物まで、そこにいるみんながイキイキと活動し、コミュニケーションを楽しんでいる様子を表現しました。